

## 第 19 部

### 情報の公開と研究者相互の情報共有



# 第 1 章

## INFO ワーキンググループ

INFO ワーキンググループは、WIDE プロジェクトホームページで公開される情報の収集と維持管理の仕組みを検討するために組織された。ここでは、96 年度に行なわれたホームページの再編成と今後の検討課題について述べる。

### 1.1 WIDE プロジェクトにおける WWW の役割

WIDE プロジェクトは、日本におけるインターネット研究と技術開発において中心的な役割を果たしている。そのため、現在の WIDE プロジェクトに求められている役割は、単に研究や技術開発を行なうことだけでなく、情報の配布、啓蒙活動といったことにまで及んでいる。また、WIDE プロジェクトの組織自身も大きくなり、組織内での情報の共有も非常に重要となってきた。

このような状況において、WIDE プロジェクトのホームページである <http://www.wide.ad.jp> の果たす役割は非常に大きなものである。そこで、96 年 3 月の合宿をきっかけに INFO ワーキンググループが組織され、活動を開始した。ワーキンググループの活動目標は以下の通りである。

- WIDE プロジェクトの紹介、技術移転のための情報公開、ソフトウェア配布など、WIDE プロジェクトが一般に公開し配布する情報の収集と維持管理のための体制作り
- WIDE プロジェクト内で共有される情報の収集と維持管理のための体制作り

### 1.2 ホームページ作成の経緯

WIDE プロジェクトでは当初 `www-admin` グループがホームページの維持管理を行っていたが、情報の収集や編集作業をグループ独自で行っていた。しかし、ワーキンググループの活動内容の紹介など実際に活動に携わっていないと作成が困難な情報が多く、十分に情報が収集できている状態ではなかった。また、WIDE プロジェクト内で共有されるべき情報についても、情報が散逸し収集が困難であったという状況であった。

そこで INFO ワーキンググループでは、ホームページを管理する組織の役割を以下のよう  
に限定し、各内容については実際に活動を行なっているワーキンググループのメンバが  
記入するという体制を整えた。

- トップページの維持管理  
トップページでは、基本的に「最新のトピックス」、「What's New」、「WIDE プロジェ  
クト及びインターネットの紹介」、「ワーキンググループ紹介」、「イベント」、「テク  
ニカルレポート」、「配布ソフトウェア」、「関連プロジェクト」、「その他」と「WIDE  
プロジェクトメンバ専用ページ」へのリンクを用意するだけにとどめる。
- ワーキンググループページのフレームの準備  
最も基礎となるワーキンググループ紹介のページの枠組を用意して、各ワーキンググ  
ループでは最小限、それを記入すれば良い状態にしている。

また、メンバーからの意見を集約し以下のような原則を定めた。

- 「最新のトピックス」を除き、トップページから直接リンクされるページ及びそれら  
のページからリンクされるページには（トップページからリンクをたどって3段目ま  
でのページ）、極力不必要なイメージを用いず、できるだけ情報をコンパクトにまと  
めること。
- 少なくともワーキンググループ紹介のために用意された枠組に含まれる情報について  
は英語版のものを用意すること。

これらの原則は、WIDE プロジェクトが国内からだけでなく海外からも注目を集めてお  
り、海外向けの情報として英語による記述、そして特にバンド幅の細い回線で接続されて  
いる国からのアクセスをスムーズに行なうための軽いページの作成を目的としている。

## 第 2 章

# WIDE プロジェクト ホームページの現状

以上で述べた方針に基づき、従来のホームページの更新を行なった。ここでは、情報更新のための手順及びホームページのアクセス例を示す。

### 2.1 情報更新の手順

現在の WIDE プロジェクトのホームページは、endo.wide.ad.jp 上で行なわれている。したがって、ホームページに記載されている情報の更新はこの計算機上で行なうことになる。

なお、endo.wide.ad.jp への利用者登録は、WIDE プロジェクトの研究者であることが条件であり、未登録のものについては自分が所属する組織の担当ボードに申請をして作成を依頼することになる。

ホームページに関する情報が登録されているディレクトリは、/proj/www/htdocs であり、このディレクトリ以下に置かれたファイルを更新することにより、ホームページ上の情報を更新することになる。

なお、ここに置かれているファイルは、RCS によりバージョン管理されているため、ファイルの書き換えは以下の手順に従って行なう。

- `% co -l file.html`  
ファイルのロックを行なう。通常の状態においては各ファイルは書き込み不可の状態となっているが、この操作によりロックを行なった利用者に対して書き込みが可能な状態に変更される。したがって、情報の更新はこの状態においてエディタで編集を行ったり、更新されたファイルを上書きしたりすることになる。
- ファイルの更新
- `% ci -u file.html`  
ファイルの更新を記録し、アンロックする。この操作によりファイルの差分情報などが登録され、更新履歴が残される。この操作において、ファイルの更新において何を行なったかの簡単なメモを入力を求められるので、簡単な記録を残しておくこと。この操作を忘れた場合、他の利用者がファイルの更新を行なうことができなくなるだけ

でなく、場合によっては行なわれた更新が無効になってしまう場合もあるので、注意すること。

## 2.2 アクセス例

図 2.1及び図 2.2に、現在の WIDE ホームページの例を示す。



図 2.1: WIDE プロジェクトホームページ

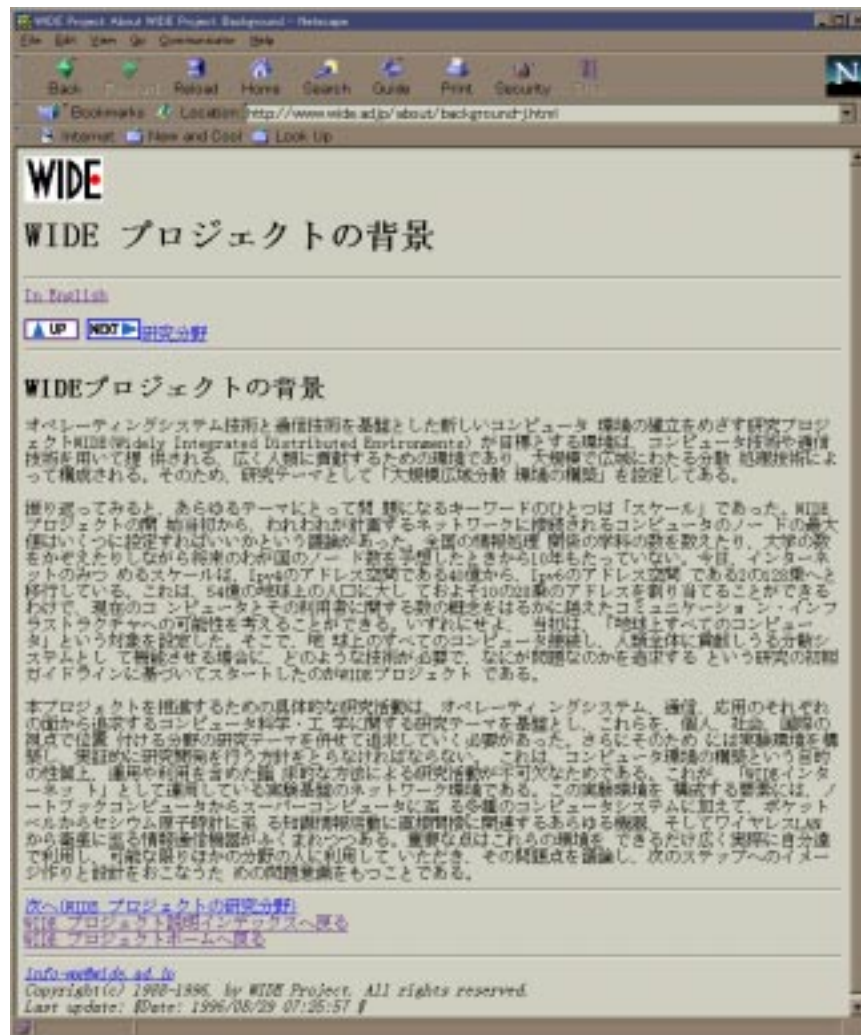


図 2.2: WIDE プロジェクトの紹介

## 第 3 章

### 今後の課題

ここでは、INFO ワーキンググループの活動において明らかになった問題点と今後の課題について述べる。

#### 3.1 情報生成の自動化

現状では、各ワーキンググループは趣意書および活動計画を作成するとともに、ホームページの情報を用意しなければならない。しかし、これらの情報には重複する部分が多く、一つの形式で情報を用意すると TeX 版及び HTML 版が作成され自動的に登録される仕組みが必要であると考えられる。

同様に WIDE プロジェクトメンバ情報についても、メーリングリストへの登録、データベースへの登録、ホームページへの登録、共有計算機への利用者登録などが独立して管理されており、これらの情報の一貫性管理などさまざまな場面で問題を生じている。こうした情報についても、基礎となるデータベースを用意し、必要な各情報は自動的に生成されるような仕組みを用意すべきである。

#### 3.2 メーリングリストで流通する情報の管理

WIDE プロジェクトメンバ間で共有されるべき情報に、各メーリングリストで交換されている情報がある。Q&A などいくつかのメーリングリストについてはアーカイブされているが、こうした情報も非常に重要なリソースであり、単にアーカイブするだけでなく、全文検索エンジンなどの仕組みを応用し、メンバ間での情報の共有をより円滑にすることが望まれる。また、こうした仕組みの提供によって新規に参加したメンバが円滑に議論に参加することが可能となり、より活動が活性化されると考えている。

#### 3.3 まとめ

INFO ワーキンググループは、WIDE プロジェクトホームページを整備するための枠組を準備することが目的であり、1996 年 9 月をもって活動を完了した。しかし、以上で述べた



ように課題も残されており、個々の課題について個別に検討を行なう活動を継続している。

